

## いじめの原因とストレス

桑野小学校

六年

須見 すみ練太郎 れんたろう

(敬称略)

ぼくは、過去にいじめをしたことがあります。

同じクラスのAさんのことを数人でかげで悪口を言ったり、無視したり仲間はずれにしたりしていました。ぼくは、その時なぜいじめをしているのか分かりませんでした。それは、今でもそうです。Aさんはいじめていた理由は分かりません。でも、いじめをしていました。

ある日、いじめていたことを誰かが先生に言いました。ぼくを含めていじめをしていた人みんなが正直にこれまでのことを話しました。今までかげで言っていたことやしたことをすべて言って、反省しました。でも、ぼくはこれだけでは足りないと思い、僕の親といっしょにAさんの両親が経営しているお店にあやまりに行きました。ぼくは、怒られてもしかたがないと覚悟していましたが、Aさんのおうちの方はぼくに怒りもせず優しく接してくれました。ぼくは、その時さらに深く自分がAさんはいじめてしまったことを反省しました。差別や仲間はずれなどのいじめを絶対に繰り返さないということを心にちかいました。

ぼくは、どうしてあのようないじめをしてしまったのか分かりません。そこで、もう一度、どうしてしてしまったのか考えてみました。始めは、小さなおふざけだったのかもしれないと思いました。でも、それがAさんの心に深いきずを付けてしまったことを今では深く反省します。

また、インターネットでもいじめが起こる原因について調べてみました。すると「いじめが起こる理由は、子どもにとってストレスが多い環境でストレスを他人にぶつけ、遊びや快樂を目的として起こる。子どもを攻撃的にしてしまう。」「原因は、家庭環境や友人付き合いなどの人間関係、学業やプライベートなどでストレスが多くなったため。」と書かれていました。自分のことを客観的に考えてみると、ストレスがたまっていなかったとは言いきれないと思います。そしてもう一つの原因は、ぼくも周りの友達もいっしょにふざけて始めたことだったように思います。もしも、また同じようなことがぼくの周りで始まったら、まず注意してやめさせたいと思います。もし、それでもやめなかったら、先生や自分の家の人など周りの大人に言ってやめるような方法を考えていじめができるだけ早く終わるようになりたいです。

ストレスの解消方法としては、一人でゆっくり過ごす時間を作る、運動をする、歌を歌う、音楽を聴く、ゲームをするなどがあります。

改めて、ぼくは絶対に同じ失敗や行動をしない、いじめをしないことを自分自身の心にちかいます。ストレスがたまる場合は、自分の好きなことをしてストレスを解消して、友達や周りの人を傷つけるようなことは絶対にくり返さないようにしていきます。